

## 地域ミーティング

# 市長と話そう！「ふれあい座談会」

平成24年度開催結果（概要）



高砂市企画総務部秘書広報広聴室

T E L 079-443-9001

F A X 079-442-3193

[tact1220@city.takasago.hyogo.jp](mailto:tact1220@city.takasago.hyogo.jp)

# ふれあい座談会の概要

今まで市内8地区で実施いたしておりました地域ミーティングを、平成24年度から小さな地域単位での座談会形式にスタイルを改め、延べ484人の方にご参加いただきました。

高砂市の実情を説明し、市政への理解を深めていただくとともに、市政に対する率直な課題、ご意見を伺うことにより、共助のまちづくりにつながると改めて認識いたしました。

この資料は、当日の意見交換を概要としてまとめたものです。

行政と市民が互いに情報を出し合い、理解し合うことが共助、参画と協働のまちづくりの基本であり、市民の皆さまからいただきました声を市政運営に生かしたいと考えています。

## 目次

	頁
平成24年度実施一覧表	1～3
質問の概要及び回答の要旨	
・魚橋北自治会	4
・塩市自治会	5～6
・古新自治会	7～8
・高砂地区連合自治会・婦人会	9～10
・梅井自治会	11～12
・西畑地区コミュニティ協議会	13～14
・東神爪自治会	15
・荒井町連合自治会	16～17
・牛谷団地自治会	18～19
・米田自治会	20～21
・阿弥陀町中所自治会	22
・末広町自治会	23
・米田新自治会	24～25
・高砂アーバン自治会	26
・中筋校区連合自治会	27～28
・米田町島町内会	29～30
・伊保地区連合自治会	31～32
・荒井町連合自治会（福祉推進委員会）	33～35
・長尾自治会	36

## 地域ミーティング「ふれあい座談会」実施一覧表

No.	実施日	開催場所	団体名	テーマ	参加人数
1	H24. 10. 28(日) 13時～ 14時30分	魚橋北 自治会 集会所	魚橋北自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆法華山谷川と用水路対策について</li> <li>◆自治会運営の在り方について</li> <li>◆自主防災活動の在り方について</li> </ul>	29
2	H24. 11. 18(日) 19時30分 ～21時	塩市 自治会館	塩市自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆法華山谷川と「間の川」の治水対策について</li> <li>◆文化財について</li> </ul>	25
3	H24. 11. 25(日) 14時30分 ～16時	古新 公会堂	古新自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆治水・防災対策について</li> <li>◆図書館建設の進捗状況について</li> <li>◆中学校給食について</li> </ul>	18
4	H24. 12. 12(水) 19時～ 20時30分	高砂地区 コミュニ ティセン ター	高砂町連合 自治会・婦人会	<p>高砂町内全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆道路整備について（高砂町全体の道路網）</li> <li>◆高砂駅前開発について</li> <li>◆市民病院のあり方について （整形外科、待ち時間等）</li> <li>◆県指定「歴史的景観形成地区」について</li> </ul>	22
5	H25. 1. 12(土) 19時～ 20時30分	梅井 自治会館	梅井自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆関西電力跡地の利用について</li> <li>◆産廃問題について</li> <li>◆鹿島・松村川の浸水及び防潮堤について</li> <li>◆梅井保育園の今後について</li> <li>◆要支援者の支援活動について</li> <li>◆都市計画線 高須松村線について</li> <li>◆ごみ焼却場、ごみ処理広域化について</li> <li>◆松陽高齢者大学の今後について</li> <li>◆山電高砂駅、JR 曾根駅周辺整備について</li> <li>◆国保料、市税など未収金状況について</li> </ul>	23
6	H25. 1. 18(金) 19時～ 20時30分	西畑 4丁目 自治会館	西畑地区コミュ ニティ協議会	<p>地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢化、少子化について</li> <li>◆高砂中学校の統廃合について</li> <li>◆市民病院について</li> <li>◆防災について</li> <li>◆じょうとんバス西畑地区乗入について</li> <li>◆PCB関係の問題について</li> <li>◆コミセン維持費の問題について</li> </ul>	48

No.	実施日	開催場所	団体名	テーマ	参加人数
7	H25. 1. 21 (月) 10時～11時	自治会 役員宅	東神爪自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者福祉施策について</li> <li>◆南海・東南海地震による浸水対策について</li> <li>◆子育て支援について</li> <li>◆じょうとんバス路線について</li> <li>◆地域活動について</li> <li>◆予防医学について</li> </ul>	6
8	H25. 1. 23 (水) 19時30分 ～21時	荒井 公民館	荒井町連合 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時要援護者支援について</li> <li>◆自治会活動、補助金について</li> <li>◆市内公共施設のAED設置について</li> </ul>	18
9	H25. 1. 26 (土) 14時～ 15時30分	牛谷団地 集会所	牛谷団地 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町内の落石防止ネットについて</li> <li>◆姫路市から高砂市へ入る道路について</li> <li>◆天川浚渫について</li> <li>◆災害時の避難場所について</li> <li>◆JR曾根駅について</li> <li>◆北浜小学校の統廃合について</li> </ul>	28
10	H25. 1. 27 (日) 15時～ 16時30分	米田第一 公会堂	米田自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆昨年の12号台風による浸水被害の現在の対策と今後の計画について</li> <li>◆多目的広場、図書館建設について</li> <li>◆中学校給食について</li> </ul>	40
11	H25. 2. 1 (金) 19時30分 ～21時	阿弥陀 中所 公民館	阿弥陀町中所 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆防災に関すること(安全安心な生活)について</li> <li>◆農道について</li> <li>◆地域の活性について (交通の便、公共施設の移設等)</li> <li>◆JR曾根駅の整備について</li> </ul>	28
12	H25. 2. 2 (土) 19時～ 20時30分	末広町 自治会館	末広町自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童の通学路の安全確保について</li> <li>◆空家(市営住宅・民間アパート)の防犯・防災対策について</li> </ul>	10
13	H25. 2. 9 (土) 10時～ 11時30分	米田新 公会堂	米田新自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆防災(浸水対策)について</li> <li>◆市営住宅跡地の使用について</li> </ul>	36

No.	実施日	開催場所	団体名	テーマ	参加人数
14	H25. 2. 10 (日) 10時30分～ 11時30分	高砂アーバンコミュニティホール	高砂アーバン自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市道等の整備について</li> <li>◆じょうとんバスについて</li> <li>◆市民病院について</li> <li>◆多目的グラウンドについて</li> <li>◆高砂市の文化レベルアップと知名度の向上について</li> </ul>	32
15	H25. 2. 16 (土) 19時30分～ 21時	中筋公民館	中筋校区連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆H23年の水害におけるその後の対策整備について</li> <li>◆JR曾根駅南口の整備について</li> </ul>	8
16	H25. 2. 17 (日) 19時～ 20時30分	島公会堂	米田町島町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆H23年の台風12号による浸水被害対策「法華山谷川・間の川」の改修計画について</li> <li>◆生石宿泊センター、教育センターについて</li> <li>◆中学校給食について</li> <li>◆公会堂の建替えについて</li> <li>◆米田西幼稚園の閉園後の活用について</li> <li>◆災害時要援護者支援制度について</li> <li>◆地域防犯対策の支援について</li> <li>◆じょうとんバスについて</li> </ul>	46
17	H25. 2. 18 (月) 19時～ 21時	中央公民館	伊保地区連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみ処理広域化計画について</li> <li>◆鹿島川・松村川の整備計画について</li> </ul>	16
18	H25. 2. 25 (火) 19時～ 20時30分	荒井公民館	荒井町連合自治会(福祉推進委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時要援護者支援制度について</li> <li>◆高砂・荒井校区について</li> <li>◆高齢者大学の移転について</li> <li>◆山陽電車踏切事故対策について</li> <li>◆暮らしを支える福祉の推進について</li> </ul>	22
19	H25. 2. 27 (水) 18時30分～ 20時	長尾公民館	長尾自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>長尾地区の課題全般について</li> <li>◆道路整備について</li> <li>◆長尾楽笑村組合の今後の運営について</li> <li>◆福祉対策について</li> </ul>	29

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(魚橋北自治会：平成24年10月28日)

No.	質 問	回 答
1	平成23年台風23号による団地浸水対策について	<p>8つのポンプ場があるが、さらなるポンプ場の建設が必要。</p> <p>逆流し浸水した大きな原因であるゲートの設置については、平成25年度に着工予定。</p> <p>法華山谷川に関する浸水被害軽減にむけて、現在、県、高砂市、加古川市による検討委員会を設置し検討を進めている。</p> <p>法華山谷川の改修により、魚橋北の床下浸水はほぼ解消される。</p> <p>法華山谷川の浸水対策として、兵庫県が河口部の山陽電鉄橋梁から上流 13.3 kmの河床掘削などの改修を行い、水位が最大 40 cm低下すると、床上浸水の解消を図ることができる。</p>
2	ゲートについて、一元化した管理をお願いしたい。(水利組合との調整)	ゲート(改修後)の管理については、従来どおり水利組合にお願いする。
3	避難所の変更は可能か。	可能である。いちばん身近で安全な場所を自治会と相談のうえ市が指定する。
4	魚橋北自治会館の耐震診断の費用はいくらか。	昭和56年以前の木造建物は、3千円、以降であれば、数万円。
5	いざという時の情報の伝達方法を教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線</li> <li>・防災ネットたかさご緊急情報メール</li> <li>・テレドーム災害情報電話応答サービス</li> <li>・BANBANテレビの利用</li> <li>・サンテレビ・NHKのデータ放送</li> <li>・広報車、高砂市ホームページ、サイレン、電話等</li> </ul>
6	高砂市民病院の待合室のテレビが見づらい。	朝日の映り込みにより、画面が見づらくなっていたため、朝日が映り込まないように反射防止シートを設け、テレビの角度を調整することにより改善する。

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(塩市自治会：平成24年11月18日)

No.	質 問	回 答
1	<p>「法華山谷川」「間の川」の治水対策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、県と市で検討会を設置し、5年以内に床上浸水をなくす。昨年と同じ雨量、法華山谷川周辺で69mm/H（県の観測）。87.5mm（市の観測所）に対応した対策を講じたい。次に床下浸水をなくしたい。</li> <li>・間の川から法華山谷川に流れる合流部の樋門増設と排水能力を高めるためのポンプを増設する。</li> <li>・流れの邪魔をしている狭窄部の拡幅、橋の架け換え等を計画している。</li> <li>・現在、市内全域での雨水対策にコンピュータ上でシミュレーションを実施しており、地域に応じた対策を作成している。来年、再来年までに整備計画、事業計画を作り、着実にやっていく。</li> <li>・県は法華山谷川の対策として、山陽電鉄橋梁から上流約13.3kmの引堤、河床掘削、橋梁、井堰の改築を実施する。</li> </ul> <p>また、県は総合治水条例を今年4月1日に施行、法華山谷川系流域懇談会を設置。水田、ため池の活用など今年度中に総合治水推進計画の策定に取り組んでいる。</p>
2	<p>米田西小学校の東側通路は少し雨が降っても浸かる。開発すると水治がなくなる。橋が付き水の抵抗が生まれ溢れ、川になる。6m道（岸本印刷北から総合運動公園、加古川の川から流れてくる農業用水路は県住の方から流れてくる）の水路周辺の田を開発されたら被害が増える。開発の際は地元、水利にも相談してほしい。米田西小学校の東が一番早く浸かっていることを頭に入れておいてほしい。</p>	<p>念頭に置いておく。</p> <p>間の川に流入する雨水幹線であり、床上浸水解消に向けポンプの増強等に取り組んでいる。</p>

No.	質 問	回 答
3	本来の水路を広げられる可能性は低い。雨水幹線、下水にはく計画を検討願いたい。	ポンプ施設等の増強に取り組んでいる。
4	防災ネット、火災で夜中何度も起された。地域別に流せないか。	地域別に登録者を把握できないので、システム上、配信地域を細分化することはできない。建物、林野火災を主に発生と鎮火を配信しているが、システム上、地域別に配信することが出来ない。ご理解いただきたい。
5	県が対岸に石垣を積んだが、全部スカスカで水が流れこんでくる。完全に閉鎖しないとイケない。(明姫幹線北、竜山橋辺りの土手が崩れないか心配) 県と調整してもらいたい。	法華山谷川左岸の低水護岸の件は、加古川土木事務所に要望する。本年度内に一部補修工事を実施する。詳細は、後日説明させていただく。
6	松陽高校跡地(教育センター)の文化財、陳列ケースはボロボロ、埃まみれ。保管方法を改善してほしい。	文化財室の整理整頓に努め、美しく、見やすい陳列方法を工夫する。
7	文化財についてパンフレットがないのでどこに何があるのか分からない。 教育委員会では高砂市は加古川の中洲で歴史が新しいので古いのはないと言われた。市ができた歴史、市史等大切にして、市民がここに行きたいと思える魅力ある市にしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の遺跡包蔵地の地図は保有している。</li> <li>・石造物に関する冊子は、実費販売している。</li> <li>・市史については、平成26年度全巻完成の予定である。</li> </ul>



平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(古新自治会：平成24年11月25日)

No.	質 問	回 答
1	治水防災対策について	<p>(塩市自治会の回答を参照)</p> <p>災害の時は、情報の伝達、共有が大切である。携帯を持っている人は「防災ネットたかさご」に登録してメールで情報を見てほしい。また、防災行政無線の放送はテレドームでも聞けるので利用してほしい。特に高齢者の方を、自治会を通じて地域で守り助ける要援護者制度を各地域で広めてほしい。支援として、だれがだれを見守るか決めて助け合う制度も理解を得ながら、情報を伝えていきたい。</p>
2	情報伝達での放送（防災行政無線）が雨の音で聞こえない。FM放送をする等の予定はあるのか。	<p>FM放送は、1軒1軒のコストがかかるため考えていない。</p> <p>放送が聞こえない場合、放送と同じ内容の情報を流すテレドームサービスを開始し、同時にたくさんの市民の皆さまが聞けるよう整備を行う。</p> <p>テレドームサービス 電話番号：0180-997506 「0180 - 救急なコール」</p>
3	図書館建設について	<p>具体的に平成28年3月に完成したいと考えている。多目的グラウンドの6000㎡のうち、図書館を北側にし、残りはグラウンドとして使用したい。車は北側から入るようにする。</p> <p>1階部分が図書館で、2階にはオープンスペースをして展覧会などもできるようにしたい。</p>
4	平成28年度から宝殿中学校で中学校給食が導入されると聞いたが、今後の予定はどうなっているか。	<p>実施するならどのようにするかなど庁内で検討している。実施してほしいという声はあるが、実際に生徒、保護者、教諭にアンケートを取ると弁当の声が多い。経費のこともあるので、まず、校舎の耐震化を実施してからと考えている。</p>

No.	質 問	回 答
5	避難所は米田小学校だが、東高砂胃腸外科病院の方が近い。東高砂胃腸外科病院との協定の予定はどうか。	東高砂胃腸外科（病院）とは、一時避難所としての使用の了承をいただいている。古新自治会のみではなく、隣接地の美保里地区とも会合を持たれており、地元自治会を交えて、病院と避難施設として協定を交わす予定である。
6	市道塩市宝中前の道路について、塩市の方はきれいに整備されているが、北条街道から東の宝中前にかけてはどうか。	宝中前までは、概ね整備は完了している。

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(高砂町連合自治会・婦人会：平成24年12月12日)

No.	質 問	回 答
1	<p>高砂市民病院のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整形外科の診療について</li> <li>・ 地域医療のネットワークについて</li> </ul>	<p>現在、整形外科の医師3名のうち、2名が来年開業、1名が来年退職予定である。外来診療だけでも続けられるよう、病院事業管理者を先頭に医師の確保に努めている。</p> <p>地域医療のネットワークについては、1次病院（開業医）、2次病院（高砂市民病院）、3次病院（県医療センター）があり、1次病院→2次病院→3次病院で診療するシステムだが、厳格に出来ておらず、PRもしていない現状である。</p>
2	<p>高砂町全体の道路整備</p>	<p>①高砂西港の周辺整備</p> <p>【親水空間】三菱重工の埋立地には(仮称)高砂西港みなと公園の整備が考えられている。</p> <p>【港湾整備】平成26年11月完成をめざして工事が進められている。</p> <p>【盛立地対策】上部被覆、遮水性地下土留壁、押え盛土、擁壁補強の工事が行われている。 (地震対策)</p> <p>【沖浜平津線】老朽化している大木曾水路の改修工事、西側を2車線で整備する道路の計画を進めている。</p> <p>②アクセス計画</p> <p>相生橋西詰交差点一北側の橋を拡幅し自動車等の対面通行をすると共に、南側の橋を自転車歩行者専用の橋にする。</p>

No.	質 問	回 答
3	<p>歴史景観形成地区について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助制度について</li> <li>・ 電線類の地中化について</li> </ul>	<p>景観形成地区の指定を受けて万灯祭を始めた。竜山石を使用した史跡等を説明する石柱を随時設置予定。</p> <p>現在、市の補助制度はない。今後、補助金のあり方の検討会の中で検討していきたい。</p> <p>電線類の地中化は、「景観の改善」、「災害時に電柱が倒れて緊急車両が通行できなくなることはない」などのメリットがあるものの、「設置・管理費用が多額になる」こと以外に「電柱に付随していた街灯、防犯灯、道路標識、変圧器などが地上に独立して設置されてかえって邪魔になること」、「水害等の場合に復旧作業ができなくなることもある」などのデメリットもあるので、導入にあたっては慎重に検討する必要があり、電線類を地中化することは、現時点で検討していない。</p>
4	<p>県立の高砂海浜公園を海水浴場にできないか。</p>	<p>みなとまちづくり構想（H17.7）「高砂海浜公園・向島公園の再生」中で、海域に関することは「高砂海浜公園の海域における底質の改善」が位置づけられており、現在、この一環で「アオサの堆肥化」などの取組みが行われており、海水浴場の検討は今後の課題としたい。</p>
5	<p>高砂町は、大災害があったとき、山陽電鉄が止まり、南北の道路が寸断されるので、山陽電鉄の東側の踏切を高架にできないか。</p>	<p>高砂町とその周辺で山陽電鉄と高架する都市計画道路は、宮前線と沖浜平津線であり、どちらも整備済みである。</p> <p>今後、木曾町南北道路や沖浜平津線（南端部）の整備により、沖浜平津線の高架へのアクセスが改善されるので、これをご利用願いたい。</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(梅井自治会：平成25年1月12日)

No.	質 問	回 答
1	関西電力跡地の利用について	<p>関電に雇用が生まれる企業（製造業）誘致、発電所設置をお願いしているところであり、今後も要求し続けていく。</p> <p>関電跡地に工場ができて、海に出る公園等、海と接する環境作りは必要と考えている。</p>
2	産廃問題について	<p>事業計画書を取り下げたわけではないが、業者に何の動きもなく、連絡協議会も最近はない。</p> <p>土地所有者による産廃土地問題の損害賠償請求訴訟は取下げられた。</p>
3	鹿島松村川の浸水及び防潮堤について	<p>市内全体の浸水シミュレーション作りをしており、それを基に25年度に床下浸水をなくすための実施計画を作る。</p> <p>鹿島第2ポンプ場にポンプを設置しているところであり、平成25年度ポンプ設置予定の行程は以下のとおり。</p> <p>H22年度 浸水対策元年</p> <p>H23年度 鹿島第2ポンプ場建設工事予算化</p> <p>H24年度 建設工事着工</p> <p>24.6 ～26.2 主ポンプ機械設備工事</p> <p>24.8 ～25.3 受変電設備工事</p> <p>25.2 頃～25.11 頃(業者未定)</p> <p>主ポンプ電気設備工事</p> <p>25.5 頃～25.11 頃(業者未定)</p> <p>除塵機機械設備工事</p> <p>ポンプ場が完成すれば、42.6ミリの雨の対応能力がある。</p>
4	梅井保育園の今後について	<p>老朽化のため建替えたい。今、内部で検討中であり、公園等の要望もあるので、複数案を提示したい。実施は学校耐震化が終わる27年度以降となる。</p>
5	要援護者の支援活動について	<p>個別災害時要援護者支援計画を自治会にお願いしており、課題もある。要援護者調査のアンケートを行ったが、今後の調査にあたっては、経過もふまえた説明をし実施する。</p>

No.	質 問	回 答
6	都市計画道路・高須松村線について	事業計画には位置づけられているが、年度は決まっていない。播磨臨海地域道路の計画もあり、合わせて考えていきたい。 県が関連道路の役割等を検討する調査を行っている。結果はまだ出ていない。
7	ごみ焼却場のダイオキシンのその後について	今は基準値以下であり、適正な状況で守られている。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ焼却炉の耐用年数は。</li> <li>・ごみ広域処理はどうなる。</li> </ul>	耐用年数は15～20年。平成32年まで民間委託している。 広域処理は2市2町で協議しているところであり、高砂1か所、加古川3か所の候補地があり、来週コンサルから報告を受ける。
9	松陽高齢者大学の今後はどうなる。	移転を含めて内部で検討しているところであり、アンケートや話し合いで決めていきたい。既存の施設を有効活用することを考えたい。
10	高砂駅周辺の整備計画はあるか。	商工会議所、商店会、地域の方との勉強会を行っているので、もう少し時間をいただきたい。
11	J R 曾根駅の橋上化はどうなる。	駅の周辺整備案を作成し、J R 西日本と話し合いを進めていく。
12	国保・市税・病院・市住家賃の収支状況、未収金状況はどうなっているか。	滞納整理推進室を存続し、担当課と連携しながら、債権確保に努めていきたい。 具体的な金額は以下のとおり。 国保未収 7億2500万円(H19)→6億5500万円(H23) 市税未収 15億400万円(H19)→14億4000万円(H23) 病院使用料未収 2800万円(H19)→2700万円(H23) 住宅使用料未収 800万円(H19)→900万円(H23)

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(西畑地区コミュニティ協議会：平成25年1月18日)

No.	質 問	回 答
1	高砂小学校・中学校の統廃合について ・仮に高砂地区から荒井中学校に行くとなると、朝の通勤時の危ない道路を 通って西畑地区から通学させるのは危険 であるため、対策をとってほしい。 ・高砂という名を残してほしい。	平成24年6月から、良好な教育環境 について学識経験者、小中学校の PTA、 高砂町・荒井町の連合自治会の12名で 協議会を組織し協議を進めている最中 である。今年度中に取りまとめて報告書 を作成し、改めてお知らせする。
2	じょうとんバスの西畑地区乗り入れ について	平成25年4月から西畑から生石行 2本、西畑着3本で運行する予定。
3	木曾町から西畑に抜ける道路工事が 止まっているが、なんとかならないか。	用地買収の手続きができ次第、すぐに 工事に取りかかる予定。早ければ25年 度に工事にかかれるのではないかと 思う。
4	市民病院の整形外科医師がいなくな ると聞いたが今後の予定は。	今年度は岡山大学から週に2人、通院 外来の医師派遣がある。来年は必ず3人 派遣するとの約束をしている。その他に インターネットの医師バンクでも募集 を行っている。
5	大地震の時、液状化は大丈夫か、対策 をしないとイケないか測定してほしい。	建物自体の耐震診断は市の補助事業 としてあるが、地盤診断は全国のどの 自治体も行っていない。液状化の可能性 はあり、おこる、おこらないに関わらず高 砂市は砂地の上にあるということを認 識しておいてほしい。
6	PCBについて	盛立地の処理、大木曾水路について は、震度6強に耐えられるよう、液状化 が起こらないよう、盛立地がくずれな いように昨年から工事を行っている。 現時点では、永久におかれる予定。今 後、安全に焼却される技術が開発され れば、再検討予定である。

No.	質 問	回 答
7	<p>・PCB の盛立地で、カネカに太陽光発電を使った電気を作ってもらおうというの はどうか。</p> <p>・津波の避難場所として PCB の盛立地は どうか。</p>	<p>盛立地の安全対策がされた後、協議会 の意見を聞いて判断していきたい。今の ところ、完成予想図には公園や太陽光パ ネルはある。</p> <p>津波がくると孤立してしまう問題があ り、できるだけ海から離れた方がよいの ではないかと考える。協議会の中で検討 してみる。</p>
8	高齢化で自主防災が難しい。	地域の動ける人で、地域を守っていただ きたい。また、中・高校生が複数で地 域の人を助けてくれる体制を今後考え ていきたい。自主防災会だけに負担させ るのではなく、全員で地域を守ってい きたい。
8	高砂町の一方通行の道路に矢印を描 いてほしい。	公安委員会と相談する。
9	西畑 4 丁目と県住の道路がまっすぐ できると危険。4 丁目は道路際が玄関 で、頻繁に車が通ると人身事故が起こっ てしまう。	道路整備は早く取りかかる予定。現在、 住宅側に歩道がないということは聞いて おり、設計するに当たっては地元の方々 と相談させてもらいながら設計する。
10	沖浜ポンプ場の騒音と臭気をどうに かしてほしい。また工事が済んだらもう 一度測定してほしい。	工事中だけでなく、平常時からずっと 気になるとは、知らなかった。現地を確 認し、担当者と相談させてする。
11	西港に作る予定の公園を、一つの案と して老人のための公園として考えてほ しい。	現在、公園は海辺に親しんでいただく ために設計する予定。公園の機能面につ いても考えていくよう検討する。
12	いつでも行けて、知らない親子同士が 友達になれる場所を作ってほしい。ま た、子どもだけでなく高齢者も集まれる ふれあいの場所を作ってほしい。	現在、そのような場所はないので、ご 意見としてお伺いする。



平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(東神爪自治会：平成25年1月21日)

No.	質 問	回 答
1	高齢者福祉施策について	<p>高齢者、障がい者福祉の拠点となる福祉交流センターが松波町に平成26年度に完成する。また、民間企業による各種介護施設の整備計画もある。</p> <p>昨年12月に長寿祝い金を廃止し、「長寿の証・記念品」などを贈呈し、老人クラブ等に助成支援していきたい。</p>
2	米田は加古川に近く、南海・東南海地震等による浸水対策を国に要望して欲しい。	<p>川の中州をとる作業を川下から行っており、現在、古新や河口付近を行っているところである。国交省に確認したところ、水量が増しても堤防は大丈夫とのこと。間の川の対策も市が行う。</p> <p>南海・東南海地震で津波は3m位と予想されるが、じわじわ上がるだけなので、家で高い所にいるのが一番である。発生から到達まで2時間あり、明姫幹線くらいまでが危ない。防潮堤などの情報を加味したハザードマップを作成中である。</p> <p>防災無線の情報は聞こえにくいので、携帯に発信する「防災ネットたかさご」に加入してほしい。</p>
3	米田西幼稚園がなくなり、子育て支援はどうなるか。	<p>米田西幼稚園は米田幼稚園に合併し、後は学童保育所、子育て支援センター、米田地区防災倉庫として活用する予定である。</p>
4	文化会館、市役所へ行くバスがない。	<p>全路線は市民病院へ、市役所へは一部の路線が行っている。現在、4月からの路線を見直しており、文化会館へのルートも1日数往復を検討中である。</p>
5	地域活動はうまく回っているが、今後の人口構成の変化による展望について、どのように考えているか。	<p>重要な役割を担っていただいている。行政は、指示により地域に手助けをするもの。地域で守っていく雰囲気を作りたい。</p>
6	予防医学に力を入れて欲しい。	<p>医療費増大を抑えるために、予防にかなり力(予算)を入れている。</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(荒井連合自治会：平成25年1月23日)

No.	質 問	回 答
1	要支援制度について、個人情報等の問題もあり自治会だけで支援者をお願いに行くには何をどうすればいいのか難しいものがある。その際には、市の担当者も同席をお願いできないか。	市が把握している要支援者は435名である。今後も制度の拡充を図りたい。基本的に支援者と要支援者との間にはプライバシーはないと思っている。まず、自分の身、家族をしっかりと見守り、その上で要支援者の安全確認、可能であれば一緒に避難していただく。 市の仲介により信頼度が増すことになる場合は、担当者が同行する。
2	市から自治会へ配布物や回覧等を持って来る際、各担当が個別に持って来るのではなく、窓口を一つにできないのか。	広報担当を中心にまとめるべきである。もし、お知らせする情報が早めに分かっている場合は、広報紙に掲載するという方法もある。今後できるだけ依頼を少なくしていきたい。
3	市制60周年に向けて、何か取組はないのか。	決してお金さえ使えばいいという事業はしたくない。文化・スポーツ事業等、市民の皆さんとお祝いできるものを考え中である。
4	要支援制度については賛成したが、個人ではなく、自治会全体ですするという形態ではいけないのか。	個人を決めた方が、役割が明確になる。普段からのコミュニケーションが必要であり、抜けがないように個人を決めておくのが良いと考えている。 自治会全体となると多くの人に情報を提供する問題も出てくる。
5	要支援制度について、地元消防団に支援依頼してはどうか。	消防団はもっと現場で活動すべきものであるため、要支援制度での役割とは少し異なると考える。
6	自治会の補助金の見直しについて、耐震に対する補助も考えていただきたい。	高砂市において、平成13・14年は財政大赤字の時期であり、平成15年に第3次行政改革をして約80億円を削減した。40億円は公共事業やイベントの減など市民の皆さんをお願いをし、残り40億円は職員の給与削減をおこない、今に至っている。自治会の補助金も15年に1割カットし、今

No.	質 問	回 答
		<p>も継続中である。</p> <p>また、会館の修繕や新築に充てる補助金も、今は全額カット中。他の補助金も一律10～15%カットしている。</p> <p>今後、補助金の見直しをさせていただく。耐震に対する補助も考えていく。</p>
7	<p>市内公共施設にはどれぐらいの数のAEDを設置しているのか。公民館には設置されていない。</p>	<p>市の施設29施設 公民館は未設置（検討する。）</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(牛谷団地自治会：平成25年1月26日)

No.	質 問	回 答
1	落石防止ネット・岩盤の点検をお願いしたい。専門家による現状調査をお願いする。	現在、市の事業計画の落石防止事業として、平成27年度以降に落石防止ネットの張替え等を予定している。その前段の取組みとして、現状のネットや斜面の岩盤の状態を把握する必要があることから、専門家への調査依頼を検討していく。
2	道路について <ul style="list-style-type: none"> <li>・天川の昭和橋から東側道路は、中央線、ガードレールがなく道幅が狭い。車両が安全に通行できるよう、対向一車線にしてほしい。</li> <li>・西浜・北脇方面につながるトンネルの向こう側の道路(姫路市)の道幅が狭い。鹿島中学校への通学路なので危険である。</li> <li>・天神橋(西から東へ走行)を越えて信号を右折した先の道路の道幅が狭く危険であるため、道幅を広げるかフラットにできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道幅は6mあり車の対向には問題ないと考える。道路標識は設置済。ガードレールの設置、水路に蓋をすることについては、水利組合と協議したい。</li> <li>・姫路市に要望する。</li> <li>・堤防に面しているため、堤防を削るのは難しいと考える。県と調整し対策を検討する。</li> </ul>
3	天川に泥や土砂の堆積が見受けられるため、早期の浚渫をしてほしい。	県から、浚渫するだけの土砂は堆積していないため、浚渫の必要はないとの回答。再度、調査依頼をし、水害の未然防止に努めたい。
4	牛谷団地内の水路に(側溝)に不備があると思われる。構造上の課題があり、斜めに設置するなど対策を考えてほしい。	問題のある箇所については、平成25年度に改善方法を検討し、スムーズに流れるようにしていきたい。
5	J R 曾根駅について	地下道案、跨線橋を設置し橋上駅化する案、駅東側の県道の歩道橋にエレベーターを設置する案の3案を1案に絞り、協議会に提案したい。一番の課題であるJ R 西日本との合意については、引き続きJ R 西日本と協議したい。

No.	質 問	回 答
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北浜小学校の統廃合について</li> <li>・幼保一体化について</li> </ul>	<p>現在のところ、統廃合の計画はない。</p> <p>平成26年4月から北浜幼稚園、北浜保育園の一体化を計画している。現在の幼稚園を保育園の隣に移転改築し、空いた幼稚園は、子育て支援活動の拠点施設、北浜地区の防災用品備蓄施設など福祉関係の活用を検討している。</p>
7	<p>避難場所は、北浜小学校、北浜公民館となっているが、常寿園と調整し、避難場所に指定できるよう協議してほしい。</p>	<p>特別養護老人施設という性質から現在多数の高齢入所者がおられるため、災害発生時において、入所者対応の他に避難受入（避難者対応）は、困難であるとの運営者の見解がある。運営の妨げにならない範囲で避難スペースを確保出来ないか等、依頼している。</p>
8	<p>市の所有地を占有している人がいるときいているが把握しているか。</p>	<p>自治会長と面談し、聴取調査を行ったところ、当該土地は、過去に市が払下げを行った土地であり、不法占有の実態はなかった。</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(米田自治会：平成25年1月27日)

No.	質 問	回 答
1	<p>昨年の12号台風による浸水被害の対策及び現在の対策と今後の計画について</p>	<p>(塩市自治会の回答を参照)</p> <p>米田町では1, 118件の床上・床下浸水被害があり、高砂市では床下浸水を無くす目標で、今、浸水対策の計画を作っている。段階的にいえば、床上浸水を無くし、それから床下浸水を無くす目標で2年掛けて、しっかりした計画を作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床下浸水については、現在、市内全域での雨水対策について、シミュレーションを実施しており、結果が出てから治水対策計画を策定する。</li> <li>・法華山谷川の改修について、県は5年計画をしており、市も5年を待たずして川の拡幅、橋の架け換えを予定。</li> <li>・防災行政無線の放送が聞こえなかった問題については、情報伝達方法として、電話案内（テレドーム）を開設、また、防災ネット高砂を開設しているので、利用してほしい。</li> <li>・防災行政無線は、サイレンを鳴らしてから放送するよう改める。</li> <li>・津波情報等加えたハザートマップを平成25年度に配布する。</li> <li>・南海・東南海・東海地震による津波については、現在、県が策定しており県からの結果を受けて対策を決定していきたい。</li> <li>・土のうについては、米田地区として米田、米田東部、桜、米田東の4か所に各100個、米田分団にも配している。</li> </ul>
2	<p>間の川の整備の計画を、もう少し具体的に聞かせてほしい。</p>	<p>もう一年、時間をいただきたい。具体的な対策については、水路を含めた形での対策、大きな取水ポンプ場の設置も含めて行っていきたい。</p>

No.	質 問	回 答
3	間の川に流れている米田の東、県住の ところの水路が浅いので何とかしてほしい。	水路の件は認識している。
4	多目的広場に図書館を建てると聞いているが、今はスポーツで使っている。 電子図書という形で、各学校で閲覧できないか。	今、平成27年度完成で図書館建設の計画をしている。図書館は、市に一つは必要な施設だと思っている。 高砂の文化発信拠点としての機能も果たしていけたらと思っている。 図書館建設は、是非やらせていただきたいと思っているので、ご理解いただきたい。
5	中学校給食について	実施する方向で検討をしている。 平成25年度に協議会を作り、平成26年か平成27年ぐらいに答えをだして、平成28年に給食室を建て、平成29年ぐらいからがおおよその目安である。
6	多目的広場に図書館が出来ると聞いたが、グラウンド・ゴルフで利用しているため、グラウンドが狭くなり、グラウンド・ゴルフが出来ると不安である。	多目的広場は約22,000㎡あり、その内の6,000㎡が図書館用地を予定し、残15,000㎡～16,000㎡については、グラウンドとして整備し、使用していただく。

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(阿弥陀中所自治会：平成25年2月1日)

No.	質 問	回 答
1	集中豪雨が起きても浸水しないような排水能力のある排水路を造ってほしい。	現地を確認し、調査した上で検討していきたい。
2	農道を大きなトレーラーが走るのも危険である。道路、ヒューム管がもたないので何とか指導してほしい。	市道については、通行禁止にすることはできないため、道路、ヒューム管等の点検・パトロールをしていきたい。
3	草刈り中に散歩をしている人を傷つけた場合、草刈りをしていた人が責任を取らなければならないので困る。事故が発生した時の対策なので、市で保険に入れないか検討してほしい。	本市では、市の施設の瑕疵、市の業務遂行上の過失及び市の管理下にある市主催・共催行事を対象に、全国市長会損害保険制度である「市民総合賠償補償保険」に加入している。 お尋ねの市の保険については、対象外になる。
4	工楽邸など高砂堀川付近は古い町並みが残っており、保存を検討してほしい。	花井邸は修復しており活用しているが、工楽邸は難しい。松右衛門帆で高砂をPRしたい。
5	北側は防災無線が聞こえにくい。	防災ネットたかさごの登録により、防災無線と同じ内容が配信される。携帯電話のない人は、自宅の電話からテレドームサービスで防災無線と同じ内容を聞くことができる。
6	J R 曾根駅の橋上駅化について	J R 西日本との協議、了解が必要。南側の道路、駅前広場の整備が必要なため、橋上駅化の準備としては、平成25年度に南側の道路の拡幅工事のための測量、設計の予算を計上している。
7	じょうとんバスは、便数を増やすだけでは利用者が増えないだろうと思う。阿弥陀には自然もあるのでこれを利用して地域の活性化ができないか。	平成25年4月から新ルートで運行するが、ルート変更による混乱を少なくする。新規利用者を増やすため、自治会説明、広報誌への情報掲載、出前講座等を行い、バスの情報を伝えていく。 また、毎年の利用状況を分析し、地域に伝え、利用促進を図った上で、3年後、6年後に路線等の見直しを行う。



平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(末広町自治会：平成25年2月2日)

No.	質 問	回 答
1	朝の子どもの通学時に、秋山医院とビデオ店の間の斜めに入る道を抜け道として通る車が多い。その多くが市役所の職員ではないか。	職員に指導を徹底する。 2月4日自治会長と立会いし、秋山医院からの市道について外側線を引キスピード緩和を図る。警察と協議でき次第実施する。
2	上記道路に、徐行を促す看板等は設置できないか。それには補助制度はあるのか。	2月4日自治会長と立会いし、「通学路注意」の電柱幕を巻く場所を確認、商品注文中で届キ次第対応する。
3	子どもの通学路のT字路のマークが薄くなっていて、分かりにくい。	2月4日自治会長と立会いし、T字路マークが薄くなっているところの確認を行い業者発注済み、ただし、1箇所については、個人通路からの出口のためお断りする。
4	市住人人に立ち退きをお願いするのではなく、現状の中でもっと管理することはできないか。	現状の中で市職員が全てを管理することは難しい。危険建物については、取り壊す方向で進めさせていただく。市営住宅再生マスタープランに基づき進めていく。
5	市が職権を使って、住人立ち退きの手順をとれないのか。	アパート所有者を法務局で確認し、2月12日に適正な管理のお願いを通知済み。今は回答待ちである。

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(米田新自治会：平成25年2月9日)

No.	質 問	回 答
1	防災（浸水対策）について	<p>(塩市自治会の回答を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の台風12号の大きな水害で、床上・床下合わせて3,900棟の浸水があり、高砂市では床下浸水を無くす目標で、今、浸水対策の計画を作っている。段階的に云えば、床上浸水を無くし、それから床下浸水を無くす目標で2年掛けて、しっかりした計画を作っていく。</li> <li>・ ハザードマップについては、5年前に配布したが、ため池が決壊した場合、南海地震による津波の関係も入ったハザードマップを再度作成し、各家庭に配布する予定である。</li> <li>・ 南海地震による津波について、国の発表（一定の条件の基）では、津波高3m。県が国のデータを基に、再検証を行っており、そのデータを基に高砂市として対策を行う。</li> </ul>
2	市営住宅跡地の使用について、自治会活動、子ども会の廃品回収等で使用させて欲しい。	<p>現在作成中の市営住宅マスタープランの計画が3月に出来あがる。米田新の市営住宅については、廃止の方向で考えており、できれば売却したいが、相談させていただく。それまでの期間は、自治会の利用目的であれば、行政財産使用の手続きにより使用許可できる。1年毎の更新で、鍵の借用期間中は自治会の管理になる。</p>
3	加古川の堤防の7・8割まで水位が上がった（40、50年前）ことがある。何年か前には、堤防の半分位まできた。堤防が切れたら全滅であるが、そのあたりはどう考えているのか。	<p>水の流れを良くする、受ける量を増やすために古新堰堤の手前の中州を削った。加古川の河口部分も行う計画である。この事業で水量が増えることにより、曲がったところに直接当たり、力が強くなり、堤防が壊れることはないのか、国土交通省と協議したが、大丈夫、安全との回答である。</p>

No.	質 問	回 答
4	<p>先の台風で大きな水路（ポンプ場との間）が溢れた。市から、水利の関係で水路の悪いところを教えてほしいと依頼があったが、全体の調査をお願いしたい。</p>	<p>雨が降れば、水路を通して流れるため、シミュレーションの中で把握しておかないと対策ができない。今後、検討する。</p>
5	<p>加古川の水位が高くなった場合は避難のシミュレーションをしてほしい。 米田新の避難場所への道中が長いし、民間の大きな建物も無い。</p>	<p>市としての考えは、避難場所はできるだけ集約させるのが、防災上の一番であり、この地区であれば米田小学校に集まっていただく。道路冠水していれば、一時的に安全な場所、公会堂等を一時避難場所に、最終的には小学校に避難していただきたい。</p> <p>浸水の時は、家の中に居れば安全である。外に出れば、水が流れて、水路か道路かがわからなくなっており、危険である。家の中で、一番高い処に居てほしい。今、どんな状況であるのか、何とかして、行政・市の方へ知らせてほしい。</p>
6	<p>地震については、どうか。 その対策は、個人的にするのか。</p>	<p>地震で一番揺れが大きいのは、山崎断層で震度7。南海地震で震度6強。南海地震の30年以内に起こる確率、山崎断層の地震発生の確率は低い。</p> <p>災害時における行政の出来る範囲は、社会資本整備と市民の皆さまに安心していただけるような設備等のセーフティネットを作るのが行政であり、自分の家の中で出来ることは、自分でしていただきたい。</p> <p>「防災リーダー高砂」には、半年間の研修に行き、防災士の資格のある方がおられ、自分の身は自分で守る方法等の指導をしてもらえる。</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(高砂アーバン自治会：平成25年2月10日)

No.	質 問	回 答
1	市道整備については、車道優先であり、歩道が未整備のところ、段差があるところ、狭くなっているところがある。障がい者のことを考えて整備してほしい。	すべての道路に歩道を整備するのは困難であるが、新しく道路を整備する場合は、出来る限り歩道を（広く）整備する考えである。また、でこぼこになっている箇所などは補修するので、指摘してほしい。
2	北条線の整備、小松原区域はいつできるか。	小松原地区については、26年完成を予定している。歩道についても古新地区と同じ幅で延長していく計画。
3	じょうとんバスの増便について	増便するにも、まずは乗っていただきたい。25年4月から、宝殿駅のルートでの時間延長、増便を含む増車による増便とルート変更を予定している。
4	北条線の神姫バスの増便とじょうとんバスのアーバン乗り入れについて	北条線の神姫バスは必要な路線と考えている。 じょうとんバスは、図書館の新設に伴い、ルート変更を検討する。
5	市民病院の先生が長続きするようにしてほしい。給料が安いからではないか。	医師については給料の問題ではない。医師の派遣については岡山大学など広く派遣先を要請している。
6	多目的グラウンドに図書館ができるが、遊具のある公園を整備してほしい	多目的グラウンドは、半分は図書館に、半分は今の状態になる。遊具のある児童公園は市内に点在し、不足しているとは考えていない。公共の公園として、現存の公園を利用してほしい。
7	高砂市の文化のレベルアップと知名度の向上について	外から知名度が上がるよりは、市民の皆さまに高砂の良いところや歴史、文化など多くを知ってもらい、このまちを好きになり、住んでよかったと思ってもらいたい。それが、文化レベルのアップと知名度につながると考えている。

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(中筋校区連合自治会：平成25年2月16日)

No.	質 問	回 答
1	ごみの広域化に関して、ごみ収集車の通行ルートや排気ガス等の問題の対策を考えてほしい。	民間も含めて高砂市の89台のごみ収集車に、1市2町（加古川、稲美、播磨）の280台がプラスされるので、沿道の方は大きな影響を受けると思う。通行ルートについては、最も負担軽減できるルートを考えたい。また、振動が低くなるようなアスファルト、騒音が出ないような舗装にするとか道路の舗装年数を短くして、振動が出ないような道路の整備も視野に入れて考えたい。 今後、色々な形で説明したい。
2	親が仕事に行かなければならない時、病気の子どもの面倒を見てくれる場所を作ってほしい。	病児保育は、平成25年4月以降にこぼやし小児科（米田西小学校の南側）が実施予定。
3	竜山中学校に抜ける東西の道と福田工業周辺の歩道は、雨が少し降ると水が溜まるので整備してほしい。	2月28日に加古川土木事務所道路保全第1課に要望済。
4	鹿島川の整備計画はどのようなものか。（旧250号線の下と松陽中学校の箇所）	流れやすいように掘り下げて兩岸を広げたいと考えるが、高圧線鉄塔があり、50cmから60cmぐらいしか掘れない。最大限の容量を増やすこと、水の量を保持、保持できない水について検討する。
5	JR曾根駅の歩道橋が錆びて悪くなっているので早急に対応してほしい。また、歩道橋の階段を降りた道はでこぼこで危険なため、整備を早急にしてほしい。	2月28日に加古川土木事務所道路保全第1課に要望済。
6	電信柱（春日野団地の通学路）に黄色の注意喚起を貼ってもらいたい。また、団地が道路を挟んで建っているため、南北とも見通しが悪く時間規制するなどの危なくない方法を考えてほしい。	注意喚起については、南側はあるので、北側に黄色い看板を貼る。 時間帯規制については、地元の理解を得る必要があり、再度調整し高砂警察へお願いしてほしい。

No.	質 問	回 答
7	<p>空家の維持管理を持ち主にお願いしたいが、プライバシーを盾にとって連絡先がわからないのでなんとかしてほしい。</p>	<p>小野市が所有者に代わって廃屋状態の空家を撤去し、費用を求める行政代執行を盛り込んだ空家適正管理条例を施行している。また、他では管理不十分で命令に従わない者の氏名等の公表を行ったり、自治会が実施する空家の解体撤去工事について費用の助成を行う制度が見受けられる。</p> <p>高砂市においても空き家が増加し、生活環境や防火防犯など多方面にわたる問題が生じている。</p> <p>現在、高砂市空き家対策検討委員会を設置し、所有者の個人情報等の目的外利用等、他市の事例等を参考にしながら制度化を検討している。</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(米田町島町内会：平成25年2月17日)

No.	質 問	回 答
1	浸水対策、法華山谷川間の川の改修計画について	(塩市自治会の回答を参照)
2	生石宿泊センターが閉館になり1年経った。教育センターが来る話がなくなったのか。	老朽化した教育センターのあり方について、庁内の検討委員会で休館中の生石宿泊センターの利活用という方向で検討を重ね、一定の方針をまとめました。しかしながら、移転後の教育センター跡地の活用計画等も併行して地域の方に示す必要もあり、平成25年度から跡地の活用ビジョンについて検討していく。
3	法華山谷川の左岸、生石橋から踏切までの土手、道路整備の予定はあるか。	法華山谷川左岸(市道米田87号線)道路については、簡易舗装(防塵舗装)の年次計画を立てた上で整備する。法華山谷川の整備スケジュールも確認し、最終的には表面舗装ができるように検討していく。
4	中学校給食は稲美町などで実施している。高砂市も財政は厳しいが検討願いたい。	中学校給食については、平成25年度に学識経験者、保護者及び中学校長等の委員で組織する検討委員会を設置し、中学校における学校給食について必要な事項を調査するとともに、中学校給食の望ましいあり方等を検討する予定である。
5	公会堂建替えが必要である。サブグラウンドの一部を借用したい。	運動公園については、都市計画事業により整備したものであり、それ以外の目的には利用できない。
6	整備計画には当地の自然勾配、表面排水の増加など写真を参考に、市から設計者に詳しく説明してほしい。	現地の状況等十分把握した上で、対策を講じるように指示をし、指示に従い詳細な設計を実施していく。
7	ポンプが稼働しなかったので、4月～9月の間は自動的にかかるよう2か月に1度は点検、維持管理してもらいたい。	間の川ポンプ場については、自動運転ではなく、維持管理を塩市水利組合に委託しており、ポンプの保守管理も適切に実施し、緊急時にも対応する。

No.	質 問	回 答
8	宝殿駅南は街灯が少なく暗い。	宝殿駅南地区は高砂市と加古川市の境界が入り組んでおり、県道宝殿荒井線の国道2号までは加古川区域となっているため、宝殿駅南地区のまちづくりについては、街灯設置も含めて加古川市と協議する。
8	島町内会は神爪・魚橋の一部と島の3つである。島だけではないので、全体の人数が分からない。高齢者等見守りに必要なデータが欲しい。(選管は把握している)	他の地域と重なる部分については、次回の実態調査時に、事前調整で対応していきたいと考えている。
10	免許証を返した人にじょうとんバスのサービスなどの特典を、将来的に考えてもらえないか。	免許証を返納した高齢者に対してのじょうとんバスのサービスについては、乗用車から公共交通への変換を進めるために、検討していく必要があると考えている。 平成25年4月から大幅な経路見直しを行ったため、将来的にじょうとんバスの見直しを行う機会に合わせて、免許証返納者へのサービスについても検討したいと考えている。
11	米田西幼稚園閉園後、校区の公民館的な活動に活用したい。	米田西幼稚園閉園後、改修工事を行い、25年秋をめどに北部子育て支援センターとして開設する予定。支援センター保育室と学童保育室は使用方法が限られている。2階の遊戯室は使用方法が決まっておらず、今回の工事では、空調は設置しないが、今後のニーズにより検討していきたいと考えている。



平成24年度ふれあい座談会 要望事項及び対応

(伊保地区連合自治会：平成25年2月18日)

No.	質 問	回 答
1	広域ごみ処理施設の今後の建設スケジュールについて	平成34年4月稼働に向けて、国等への申請等の事務を平成25年度から進め、平成28年度まで2年間かけて環境影響調査を行う。解体から建設の期間が約5年間かかるため、平成29年度に解体工事を始め、新しい窯と不燃ごみ処理施設を建設する。当該5年間の市内のごみは、加古川市、稲美町、播磨町に願います。
2	20%のごみ減量化は実現できるのか。	今の施設は、年間のごみの量を5万4千トンと想定して建設したが、当時4万数トンであったごみの量が3万3千トンまで減ってきている。これは、市民の皆さまの協力、ごみ減量化への意識が高まってきたからだと思っている。ごみ減量化は実現できると考えている。
3	広域ごみ処理施設建設における地域住民や道路環境などへの配慮について	生活環境影響調査を行い、広域化での施設設置により環境に著しい影響を与えることのないような施設計画並びに環境整備に努める。
4	広域ごみ処理施設建設について環境面やコスト面など配慮し、できるだけ良い装置（機器）を導入してほしい。	環境面やコスト面に配慮した、安全安定稼働が行える設備の導入に努める。
5	集中豪雨が起きても浸水しないような排水能力のある排水路を作してほしい。(鹿島松村川周辺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松村川の河川浚渫を実施。平成25年度も継続予定。</li> <li>・鹿島川・松村川河川整備計画を策定。</li> <li>・鹿島第2ポンプ場ポンプ増設。</li> </ul> <p style="text-align: center;">工期 平成24年6月28日～ 平成26年2月21日</p> <p style="text-align: center;">1200mmエンジンポンプ 1台増設</p>

No.	質 問	回 答
		<p>現在、市内の流失解析シミュレーション（流出解析とはコンピュータ上で地盤の高さや現況水路などのデータを入力し、ある一定の大雨が降った場合にどの地域が浸水するかを解析するもの）を用いた浸水対策の検討を進めている。その区域にどのような対策をすればどのくらい浸水区域が解消または減少するかについてもシミュレーションし対策を検討していく。</p> <p>シミュレーションについては、治水対策（松村川・鹿島川整備計画策定中）との調整をしながら検討していく。</p>

平成24年度ふれあい座談会 質問の概要及び回答の要旨

(荒井地区連合自治会 福祉推進委員会：平成25年2月25日)

No.	質 問	回 答
1	<p>災害時要援護者支援制度関係について、中新町には自治会がないため、住民は小松原、東本町、蓮池自治会に分散して加入している。民生委員は小松原、福祉委員は東本町が担当になっており、情報が把握できない。中新町住民に係る福祉関係委員(民生委員・福祉委員等)を自治会単位で分けるなど整理をしてほしい。</p> <p>また、中新町自治会をつくる働きかけをお願いしたい。</p>	<p>昨年11月の実態調査で、初めて中新町に1名の災害時要援護者がおられた。自治会は蓮池町。調査の際に本人に加入自治会を確認している。</p> <p>現在、実態調査を集計中であり、各自治会に、新たに追加された要援護者の情報を提供する予定である。</p> <p>自治会は、一定の区域に住所を有する地域住民の自主的な意思による総意に基づき、地域を快適で住み良くするために組織された任意団体である。自治会と行政は対等なパートナーとして相協力する関係にあり、地域住民の主体的な判断により自治会運営をしてほしい。</p> <p>自治会の編成等については、地域の現状を鑑みながら協議していきたいと考えている。</p>
2	<p>支援制度について申請状況はどうか。</p>	<p>意向調査を行った結果126団体中、103団体の回答があり、31自治会(要援護者129人)から「個別支援計画」を作成する意思表示をもらっている。</p> <p>荒井町からは御旅、小松原、東本町、緑丘、末広の5自治会から申し出をもらっている。</p> <p>計画策定済みは8自治会、対象者40人、避難支援者64人。自治会以外での希望者は4人、避難支援者8人。</p>
3	<p>行政サイドから民生委員への指導、関わりをどうするのか、アドバイスを具体的に教えてほしい。</p>	<p>全体での説明会を行っていないので、今後、幅広い人に集まっていただき説明会を行い解決方法を考えていく。</p> <p>災害時要援護者支援制度は災害が起こった時に助けに行く、行けなくても心配してもらえる方を予め決めておくべきとの思いで制度を作っていきたい。</p>

No.	質 問	回 答
		<p>個人情報を開示しても良いと確認を取ってから進めていきたい。自治会においても名簿を出す場合に個人情報と認識したうえで、支援活動にしか使わない、使ってはいけない情報として、十分に説明をしなくてはならないと考えている。</p>
4	<p>行政と社会福祉協議会の関わり方について</p>	<p>民生委員は厚生労働省から委嘱され、福祉委員は社会福祉協議会の小福祉委員会を通じて活動してもらっている。</p> <p>社会福祉協議会と行政の両方で要援護支援を動かしていこうとしている。個人情報は守っていくが、災害があった場合は、人命が優先と考えている。</p>
5	<p>要援護者は自力では避難できない人もいる。近所の人を決めていても、平常時は女性がほとんどなので、もしもの時は支援しにくいのではないかと。また自主防災会、消防団などの関わりを明確にしてほしい。</p>	<p>まずは自分の身の安全、家族の安全を確保し、近所の人々の安否確認をしていく。支援される人も心得ておいてほしい。</p> <p>消防団は実際の現場の災害対応をお願いする。わかりやすい説明ができるような場を設けて、理解してもらえるようにしていく。支援も大切だが、タンスの置く場所を変えておく、倒れないように補強しておく等、災害が起こる前の災害対策について、支援者は要援護者と話し合ってもらいたい。</p>
6	<p>タンスを補強するのにビスを打っても壁が石膏ボードなので効かないため、止める方法などを教えてほしい。</p>	<p>広報「たかさご」などで防災のマメ知識のようなコーナーの掲載を検討する。</p>
7	<p>校区の問題で、高砂・荒井の区割り変更の話があるがどうなるのか</p>	<p>生徒数が減った場合に、例えば荒井中学校を広げて一部を高砂中学校の生徒が使う、統合して一つにする、高砂小学校・中学校一貫校にするなどの提案がある。</p> <p>もし高砂小・中一貫校にするならば、高砂町だけではなく、高砂市内全域、全校区からも通学できるようにするなどの提案をし、市民の皆さまと考えていきたい。</p> <p>6. 3制にこだわらず、4・3・2制のように特色のある一貫校も考えたい。</p> <p>校区は守っていきたくて考えている。</p>

No.	質 問	回 答
8	高齢者大学の移転問題は怎么样了のか。	<p>市としての方針はまだ決まっていないが、図書館は古いので建て替える。教育センターと高齢者大学、文化財保存は検討中である。今ある建物を使うなど、代用できれば使っていきたい。</p> <p>庁内の検討委員会では、生石宿泊センターを改良して高齢者大学を移転する検討結果が出ている。その検討結果に基づき、市は借りている土地の環境整備を先に進め、移転に関して高齢者大学などを利用している人の意見を聞いてまとめている。検討中であるが、平成27年度に図書館がなくなるので、それに合わせたいと考えている。</p>
9	山陽電車の件について、北行の信号機を黄色の点滅から青信号に変えられないか。	<p>高砂警察署、市、企業、自治会で会合があり、その中で提案をしてみる。</p>
10	暮らしを支える福祉の推進について	<p>暮らしを支える福祉の基本は家庭からだと思うが、市として造っていくべき施設、制度もあると思う。25年度に福祉の拠点として3世代が交流できる場所、福祉交流センターを造っていく。</p> <p>長寿祝い金を廃止し、長寿の証として大切にしてほしいとの思いから、お金ではなく、記念品で残るものを贈呈していく。</p> <p>子どもに対しての福祉、母親が働きやすい環境作りが大事である。高砂市の保育所待機児童ゼロを守っていきたい。</p> <p>教育、小学校・中学校の安全な施設を造っていく。</p> <p>高齢者の方に、いつまでも元気で長生きしていただくために、小グループで活動をするときの支援をさせていただく。生活の中に文化を取り入れ、生活の中で、高齢者の経験を若い世代に伝えてほしい。</p>

平成24年度ふれあい座談会 要望事項及び対応

(長尾自治会：平成25年2月27日)

No.	質 問	回 答
1	長尾楽笑村及びじょうとんば村構想について	全体については、現在、東播磨県民局の補助を受けて、長尾地区が「水辺の未来づくりプラン」の策定を進めているところである。内容については、検討していきたい。
2	但馬守西側の道路整備について (2年前の要望書の件について)	2年前に要望のあった件については、道路整備は、困難であると口頭で回答し、碎石による補修と転落防止のためのトラロープを張っている。
3	下水道の計画について	この地域は調整区域であるため、公共下水道の計画はないが、市街化区域が完了する平成27年度以降に調整区域を検討する。平成25年、26年度で方針を検討し平成28年度までに水洗化（污水整備）の答えを出したい。
4	合併浄化槽の補助金について	現在、補助金を出していない。市街化区域の水洗化には税金を投資しており、アンバランスであるため、補助についても検討する。
5	広域ごみ処理施設建設に伴う環境課題について	新しい処理装置で大きくなればなるほどダイオキシンの量は減少する。 排ガスについては、法規準よりきびしい自主規準を設け、ごみ処理方式の検討・生活環境影響調査を行い、環境に著しい影響をあたえないような施設整備に努める。
6	公園墓地の増設案はないのか。	当該場所はすでに区画整理をしており、現在は増設する場所がない。今後の検討課題としたい。
7	市有地の行政財産使用料について、個人で使用する場合でも占有許可申請を提出し使用料を納入しなければならないのか。	平成22年4月に条例制定され、4mまでは、申請はしてもらおうが使用料は無料にしている。4mを超えた分は面積を出し計算し納入してもらっている。